



信号のない横断歩道の渡り方



65歳以上の高齢者の交通事故死者数の約半分は歩行者です。そのうち約8割は道路を横断中に事故の被害に遭っています。自分の安全は自分で守る！安全な横断方法を実践しましょう！
(令和3年中における交通事故の発生状況)

渡るのかな？
まだ渡らないかも？
このまま行こう！

上の絵と
下の絵では
どちらが安全？

知知
スッ

渡りたそうだから
止まらなきゃ！

答えは下の絵！
横断したい意思が
ドライバーに伝わるね

信号のない横断歩道を渡るときは
大きく左右確認、手を挙げる又は差し出す(ハト'サイン)
ドライバーに横断する意思を明確に伝え、
車が止まったことを確認してから渡りましょう！
(交通の方法に関する教則 第2章歩行者の心得 第3節横断の仕方より)

道路交通法第38条では、
「横断しようとする歩行者がいる場合の横断歩道手前での減速義務」
「歩行者優先義務」が明記されています。
横断の意思がしっかりドライバーに伝われば、車は止まります。
止まってくれた車に感謝を伝え、左右を確認しながら横断しましょう。



埼玉県警察本部交通総務課Twitter
交通事故防止や各種イベントなどの情報を
平日の午前8時30分～午後5時15分に配信中

